



□本堂外壁塗装工事了

▼平成二年の本堂落慶より二十二年、あちこち塗装が禿げたり、鉄骨にも錆が見つかりましたので、二十二年ぶりに外壁塗装工事を行いました。来年の授戒会に向けて本堂もきれいになりました。

□本寺開山忌

▼当寺の本寺である村上市門前・耕雲寺様では九月六日・七日と開山忌が勤修される。当寺開山海応寿山和尚は耕雲寺十六世。耕雲寺歴代住職が開いたお寺は東北中心に八十ヶ寺を数える。その中でも村松・慈光寺、岩室・種月寺、六日町・雲洞庵は耕雲寺と併せて越後四箇之道場とされる。

□瑞應寺だより (恭真)

▼愛媛県新居浜市の瑞應寺に修行中の三男恭真は修行中の第二座、書記を勤め終わりました。▼瑞應寺では毎年六月「般若入れ」という法要が行われる。それぞれの地区の公民館で般若会を修し、その後、大般若経を納めた経箱を二人で担ぎ上げ「ナンマイダーナンマイダー」と唱えながら町内の家を廻る新居浜独特の行持である。家人はその担がれた経箱の下をくぐり、無病息災、五穀豊穡を祈る。

▼六月二十三日、先住檀崎一光大和尚の十七回忌法要が勤修された。一光老師は住職が修行中の昭和五十五年大本山永平寺二祖国師大遠忌には後堂職(雲水指導)にあり、後に副貫首まで上られましたが、ご病氣により世寿七十九歳にてご遷化なされている。沢山のご縁により、現住職檀崎通元老師のもと、遠い四国の地で修行に励んでいます。



托鉢修行

■訃報

東川内 柳澤與二氏 逝去  
平成二十四年二月二十五日享年八十五歳  
小舟戸 佐藤毅一氏 逝去  
平成二十四年八月八日享年九十九歳  
永年世話役員として寺護持発展にご尽力くださいました。感謝を申し上げ謹んでご冥福をお祈りいたします。

□梅花だより

第二十回第四宗務所

梅花流奉詠大会

期日 十月四日  
会場 聖籠町文化会館  
定員 七百名  
登壇奉詠曲  
無常御和讃・無常御詠歌(月影)

●平成二十五年授戒会中修行

開山海応寿山和尚四百回忌  
十八世慧運洞光大和尚七回忌  
導師 大本山永平寺副貫首  
南澤道人老師



仏事の知識 戒名

葬儀の折には必ず故人となられた方にみ仏の弟子となる戒律を授けます。これを「授戒」と言います。この時菩提寺様からつけてもらうのが戒名で、俗名から出家者としての名前(戒名)を頂くものです。

生前に授戒について授かる戒名は四文字で、道号二文字、法号二文字です。住職は法号が「英俊」で道号は「仏学」と言います。「仏学英俊」という戒名です。「仏学」は昭和三十八年授戒会の戒師・永平寺七十三世熊沢泰禅禅師様より頂きました。

△△院、○○庵は本来はお寺にも院、庵とつくお寺があるとおあり、物心両面でお寺を護持してくださいました人にお付けしています。居士、大姉、信士、信女も位号と言ひ戒名には含まれません。戒名は仏教徒である証しであり、お釈迦さまから連なる弟子としてのみ名です。ちなみに長男が全提孝純、次男が梯山秀孝、三男が祖学恭真です。三人とも永平寺前貫首七十八世宮崎奕保禅師様から道号を付けて頂きました。